

学校教育目標	「生き生きと活動できる心やさしい子」 知 じぶんで考え、行動する子 公 ともだちや地域の人とふれあう子 徳 だれにでも思いやりをもてる子 体 のびのびと活動する子 開 コミュニケーションがとれる子	しもだの子
--------	---	-------

「だれもが」「安心して」「豊かに」生活できる学校

子どもと子どものつながり、人とのかかわりが深まる子の育成

自分の人権を守り、他の人の人権を守ろうとする意識・意欲・態度

↓

(低学年)
 自分の考えをもち、相手意識をもって友だちや地域の人たちとかかわる中で、楽しさや喜びを感じ取ることができる子の育成

(中学年)
 主体的に学び、自分の考えに対する自信や仲間に認められる安心感をもてる子の育成

(高学年)
 自ら問題を追究し、お互いに高め合いながら学びを創っていくことができる子の育成

互いに尊重しあう

違いを認める

子ども同士が学び合う

自分を知る

仲間を知る

- 幼稚園・保育園との交流
 - ・多様なかかわりと自分への気付き
- 福祉教育
 - ・各種体験を通しての人権感覚の育成
 - ・1・2年生 ふれあい給食
 - ・3年生 地域のショートステイ施設との交流
 - ・4年生 自治会の敬老会との交流、アイマスク・点字体験
 - ・5年生 地域ケアプラザとの交流
 - ・6年生 職業体験 ユニセフ募金にかかわる活動
- 人権週間の取組
- 課題のある子への取組
 - ・自分のよさを知り、自信をもつ取組
 - ・友達と仲良く遊び、友達のよさを見つける
- なかよし学年の交流
- 遠足・校外学習・宿泊体験学習
- 授業力の向上
 - ・授業研究 ・教材研究 ・特別支援教育
 - ・教科担任制～子どもを多面的に見る～
 - ・わかった できた なるほどと感じられる場面の設定

目の前にいる子どもを大切にしたい取組

安心できる雰囲気づくり ・安心できない子を軸に、 安心できない状況の把握、原因の追究、状況の改善 聴いてくれる、受け止めてくれる、支援してくれる 仲間・教職員の存在		地域訪問 校内支援委員会 学年研の充実 学習機会の保障 学力向上の取組
--	--	--

教職員の人権意識の向上

日吉台西中との連携 家庭との連携 地域との連携 人権教育の原点に立ち戻り、人権意識を向上させる	～研修会、学習会、報告会を通して～
--	-------------------